

子ども部会

障がい又は発達に心配のある児童及び家族に対する支援等に関することについて協議する部会

<令和5年度の方針>

- ・保護者に対して悩みなどを話す場の提供をする。
- ・保護者へ研修を行うことにより、情報発信の場を確保する。
- ・障がい児や家族が抱える地域の課題をあげ、問題提起して部会で話し合い、解決に向けて共に考えていく。

<開催日程及び協議内容>

第1回 令和5年5月18日(木) 9:30~10:30

○昨年度の活動報告を行う。

- ・昨年度事業所部会で作成した「子どもガイドブック」が完成し、市のホームページに掲載したこと、今年度の勉強会や茶話会の計画の承認を得たこと、部会員が感じる課題を出し合っていたこと

○令和5年度の活動について話し合う。(出された意見)

- ・医療的ケア児の災害時の避難について未だに進んでいないのが現実。
- ・市内に児童発達支援事業所がない。また市内の生活介護事業所の数も少なく、卒業後過ごせる場所が増えたらと考えている。
- ・不登校児の行き場所がなく家にご家庭がある。東温市にはフリースクールもない。高等学校に入れるかどうか悩んでいる保護者の方もいる。
- ・虐待の児については関係機関が情報共有してみんなで支援していく必要性がある。
- ・自立支援協議会の意義は子どもの特徴、家族が抱える課題を抽出し、学校・保健・福祉等が連携を図り、地域が抱える課題を分析し、解決していく事が目的である。
- ・保護者が急な病気で、緊急時に子どもを預ける先がない方等がいる。緊急時の児の居場所が課題である。

※出された意見をもとに、年間スケジュールを計画する。

第2回 令和5年9月21日(木) 9:30~11:30

○「医療的ケア児の災害時の避難について」

- ・医療的ケア児のお子さまがおられる保護者に、災害が起こった時のことを想定し、課題と感じている事についてお話しいただき、子ども部会員・関係機関の方にお越しいいただき、事例検討会を開催予定。

第3回 令和5年11月16日(木) 9:30~11:30

○「引きこもりや不登校について」テーマに話し合う予定

第4回 令和6年1月26日(金) 9:30~11:30

○「緊急時の居場所について」事例提供していただき、話し合う予定

第5回 令和6年3月14日(木) 9:30~11:30

○「今年度の活動、来年度の活動について」報告する予定

小部会(保護者部会)

特別支援学校や特別支援学級に通う子どもの保護者および発達に不安な子どもをもつ保護者が対象

令和5年7月13日(木) 9:30~11時30分(茶話会の時間含む)

○「障害年金の書類の書き方について」

社会保険労務士法人ひなそよ 鈴木 正幸先生

- ・障害年金ガイドに基づき、詳細についてご説明していただく。その他の書類についても書き方のポイントを分かりやすく説明していただいた。
- ・その他、質疑応答の時間を設け、個人的に聞きたい事について具体的に説明していただいた。
- ・講義終了後、保護者の方に残っていただき茶話会を行った。日頃の悩みや感想について伺った。

(出された意見)

- ・書類の書き方について知らなかったし、友人に障害年金の書類が沢山あると聞いたので参加した。病歴や生活歴は1日も空けてはいけないと聞き、今からでも振り返りつけておこうと思った。
- ・参考資料をいただいたので、こつこつ準備していきたい。
- ・内容が良かった。今後も定期的にしてほしい。
- ・親亡き後の事を考えて、今できる事の勉強会をしてほしい。

<子ども部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等>

- ・今の現状、短期入所の受け入れ先が東温市にない。それに伴い、緊急時の居場所として、慣れた場所で一時的に預かってもらうサービスは可能かどうか検討してほしい。
- ・医療的ケア児をはじめとした障がい児の個別避難計画を作成する仕組みを作りたいので、その方法を検討してほしい。
- ・東温市内の引きこもりや不登校児の居場所がないので、検討してほしい。

成人部会

障がい者の生活、就労支援等に関することについて協議する部会

<令和5年度の方針>

- ・事業所見学の実施、ガイドブックの更新、市内の障がい者に必要な課題を部会員から抽出し検討する。

○開催（予定）日

第1回 令和5年6月20日（火）13：30～14：40

第2回 令和5年10月4日（水）13：30～（開催予定）

★小部会（就労部会）について

令和5年4月12日（水）10：00～10：55

（部会員は市内の就労継続支援A型、B型の管理者や責任者の方、下記の通り、事業所見学やガイドブックについての意見を伺う。）

<協議内容>

第1回 東温市総合保健センター 3階大会議室

協議題 ①自己紹介

②部会長・副部会長の選任

- ・部会員から賛同を頂き、引き続き部会長は福祉交流館あいの伊藤氏、副部会長は三恵ホームの田村氏になる。

③令和4年度成人部会報告

④就労事業所の年間スケジュールとガイドブックの更新について

- ・事業所見学の年間スケジュールに関しては昨年度に部会として事業所がよければ継続して事業所見学を実施することとなっていたため、下記の小部会の通り確認ができたため実施する運びとなる。また昨年実施した事業所見学の延べ見学者数は20人となった。ガイドブックに関しては事業所情報の変更点、「障がい福祉サービス」の流れが分かり難いといったご意見なども上がり改良修正を行う事となる。9月末までに事業所からの情報を頂き、年内にはまとめて、年度明けから配布予定であることを伝える。

⑤今期の部会活動について

- ・各部会員より意見を頂いた。部会で配布したアンケートと合わせて、次回部会の際に内容の掘り下げを行なっていくこととなる。

⑥その他

- ・現在、「就労ガイドブック」の製作をボランティアで部会長が行っているが、継続的に更新発行出来るように印刷・製本にかかる費用などを含め予算計上の具申を全体会に上げる旨を部会にて承認。

小部会

第1回 小部会（就労部会）（オンライン Zoom 使用）

協議題 ①令和4年度の成人部会報告

②事業所見学について

- ・事業所見学に関して、参加事業所からは今年度においても、実施をしてよい同意を頂き実施することとなる。（事務局より参加されていない事業所にも確認をする。）

③その他

- ・ガイドブック更新に関しても専門部会と同様の説明を行なう。

<成人部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等>

- ・現在、「就労ガイドブック」をボランティアで部会長が製作しているが、印刷・製本を含む費用などを予算計上して継続的な発行を行う。
- ・学校を卒業した後の保護者たちの交流をする場所がない現状がある。

相談支援部会

相談支援専門員の育成及び資質の向上、相談支援体制や地域におけるネットワークの構築に関することについて協議する部会

<令和5年度の方針>

- ・教育福祉の連携について、情報を共有する方法を構築する（コーディネーター会の活用）
- ・今年度中にセルフプランの様式を完成させ、窓口での運用方法の協議を行う。
- ・介護保険への移行期に利用者が困らないように、ケアマネジャーとの連携を図る目的で困りごとや不明な点についてアンケート調査・勉強会の開催。
- ・新カリキュラムに対応した基礎的な研修や来年度の報酬改定に関する情報収集や勉強会を行う。

○開催（予定）日

第1回 令和5年4月26日（水）9：30～10：30

第2回 令和5年6月14日（水）9：30～10：30

第3回 令和5年8月9日（水）9：30～10：30

（予定）

第4回 令和5年10月11日（水）9：30～10：30

第5回 令和5年12月20日（水）9：30～10：30

※日時・会場の変更の可能性あり

第6回 令和6年2月14日（水）9：30～10：30

○協議内容

第1回 本年度の活動について協議

- ・前年度から取り組み、未完成であるセルフプランのフォーマットと活用方法を決める。
- ・新カリキュラムに対応した基礎的な研修や報酬改定に関する情報収集や勉強会を行う。
- ・教育機関や保護者との連携についても図っていききたい。
- ・ケアマネジャーの作成するケアプランに障がい福祉サービスを組み込む必要があるがケアマネジャーにとって制度が難しく、また、誤った認識も横行しているようであり、今後連携を図るための取り組みが必要。

第2回 『相談支援専門員向け 基礎的研修』

- ・相談支援事業所さくら 主任相談支援専門員の吉良 美奈子氏を講師として迎え、『相談支援専門員向け 基礎的な研修』と題し、新カリキュラムに対応した研修を開催。ニーズ整理票を用いた思考プロセスや情報整理の方法を体験的に学習し、計画書作成までの演習を行った。

第3回

① 教育と福祉との連携

- ・コーディネーター会が開催されるときに、意見交換の機会を作れたらいいのではないかという去年からの課題がある。

② セルフプランについて

- ・相談員としても手が空いていないタイミングもある。急ぐ方などは数ヶ月セルフプランで動いていただき、後で担当につくような運用の仕方もしている。
- ・相談員がつくことと、セルフプランにすることそれぞれのメリットとデメリットを窓口（市役所・社協）で伝え、選んでもらうようにする必要がある（その際、どちらも選びやすい配慮を）。そのためにフローチャートなどの見やすいものを作成予定である。
- ・セルフプランを選んだ場合も、基幹相談支援センターで、相談員や事業所の紹介、計画のための相談や説明などの対応は可能である。
- ・昨年度まで見直しをしていたセルフプランの様式については、今年度中の完成を目指す。

③ 次回以降の予定の内容について

- ・12月に予定している『ケアマネジャーとの連携』について、事前に市内の居宅介護支援事業所宛にアンケートを送り、10月の部会はそれを基に詰めた話ができることを目指す。
- ・12月の部会は、広めの会場（人数による）を抑えられる日に変更することも検討。

④ その他

- ・不登校の子どもの居場所がないという課題がある。学校以外にも『行き場所』が必要であるとの意見もあるが、フリースクールは東温市内になく、お金がかかるため難しい。

<相談支援部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等>

- ・引きこもりが増えている現状があり、今後わかりやすい相談窓口の表示についての検討が必要ではないか
- ・不登校が増えている現状に対し、教育や福祉が単独では対応が難しいことが増えている。不登校に対する支援を今後どうしていくのか課題がある。また、地域資源として「学校以外の居場所」も必要であると考えるので、何かいい案や方法を全体会で意見を求め検討をしてほしい。